

第19回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成19年2月

応募者名：広島県 廿日市市

事業の名称：街路平良駅通線整備事業

実施都市名：広島県廿日市市

事業の目的

街路平良駅通線は、シビックコア地区整備計画が進む新宮地区において、国道2号から広島電鉄廿日市市役所前(旧名称：平良)駅までの区間を市街地のシンボル道路となる都市計画道路として整備されたものである。

特に、駅周辺を幹線鉄道等活性化事業などと併せて整備を行い、乗り継ぎの円滑化を図り交通結節点機能を強化し、新しい交通拠点的形成されることにより、新宮地区の拠点形成を高めるものである。

事業概要 (1)

事業名: 街路平良駅通線整備事業

路線名: 平良駅通線

事業箇所: 広島県廿日市市新宮一丁目

事業延長: 310m(交通広場面積3,200m²)

幅員: 20m(2車線)

総事業費: 約32億円

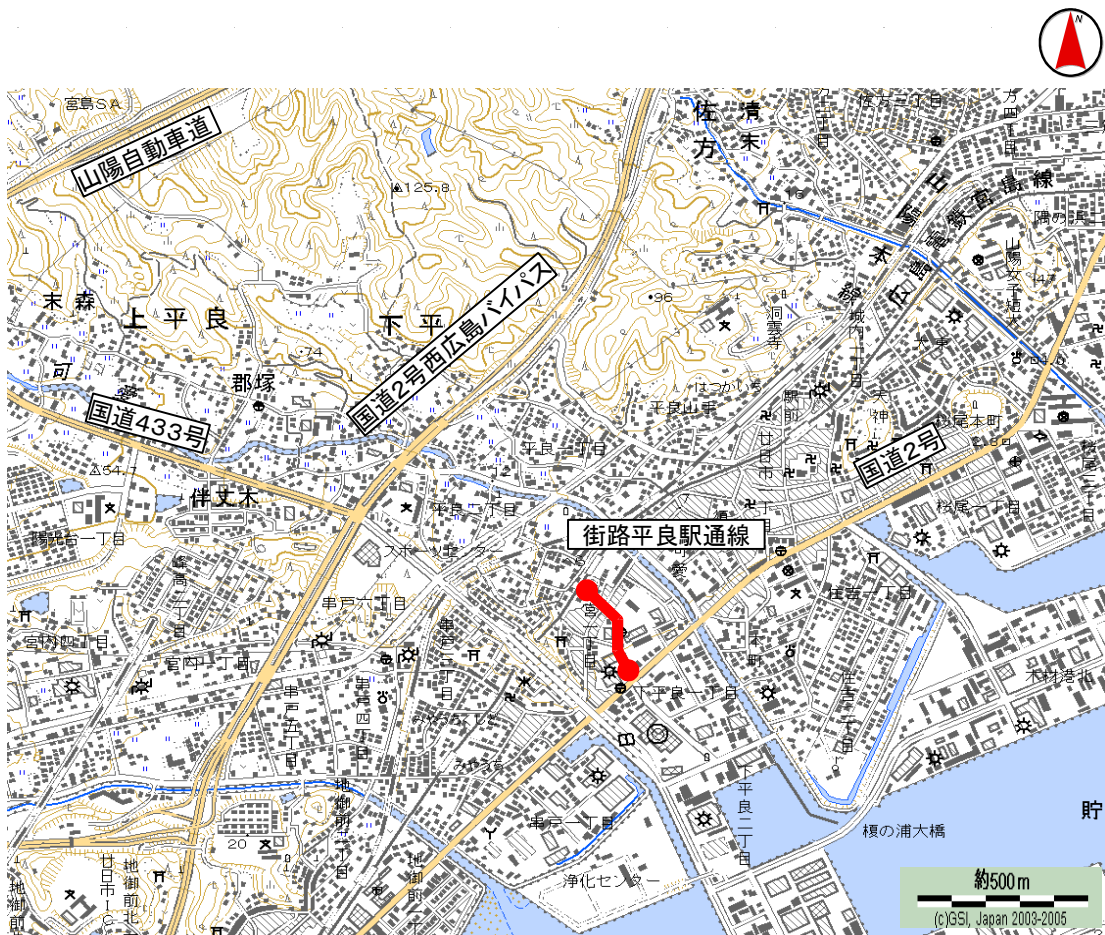
事業期間: 平成10年2月～平成18年6月

事業概要 (2)

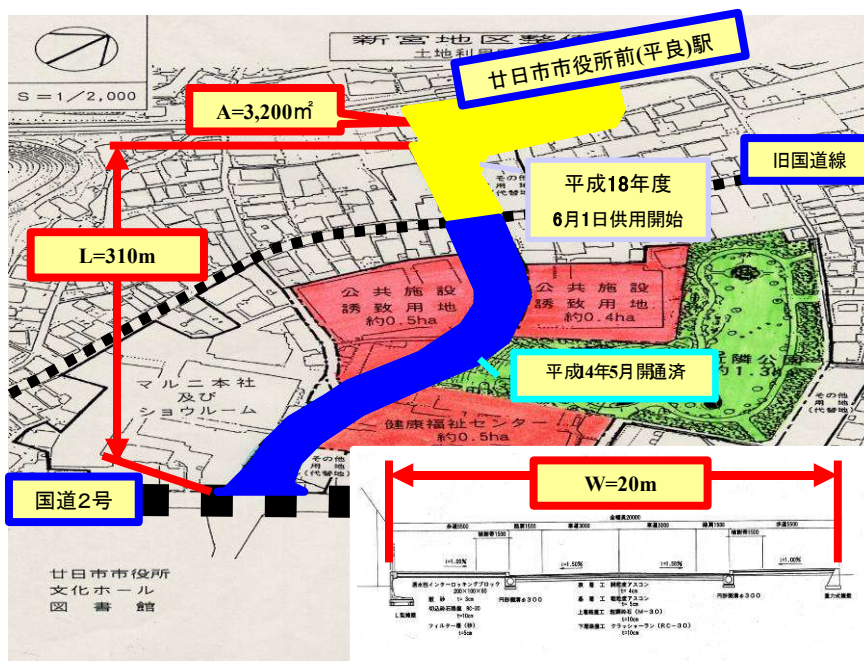
本事業は、新宮地区の各都市施設を結ぶ都市計画道路として、道路幅員20mで道路延長310m及び駅前交通広場3,200m²を整備したものである。

シンボルロードとしての位置づけのなかで、都市景観の向上を目指し、電線類の地中化やバリアフリー化等を行い、安全で快適な歩行空間の確保や駅及び周辺施設へのアクセスの向上を図るものである。

事業位置図

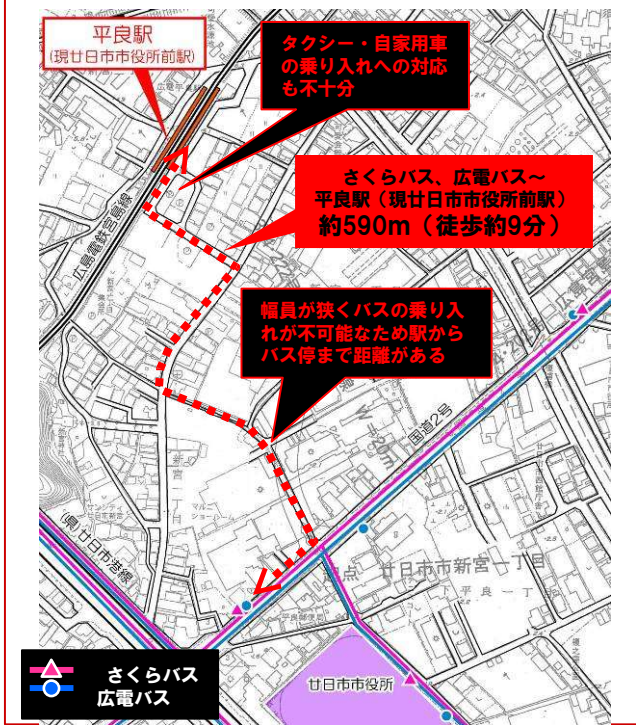


全体図(平面図・横断面図)

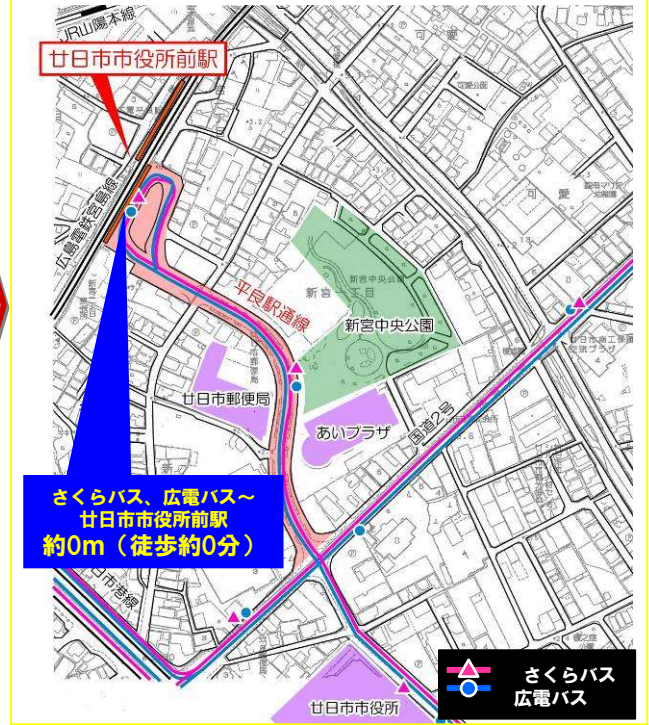


街路平良駅通線の整備効果アピール資料

従前（駅周辺のバス停分布）



従後（駅周辺のバス停分布）



○事業概要

事業名：街路平良駅通線整備事業
 路線名：平良駅通線
 事業箇所：広島県廿日市市新宮一丁目
 事業延長：310m
 幅員：20m(2車線)
 総事業費：約32億円
 事業期間：H10年2月～H18年6月

○鉄道利用者調査結果

調査期間範囲
 平成17年4月～平成18年12月
 調査駅
 広島電鉄
 廿日市市役所前駅
 日平均利用者数
 約1,540人→約2,060人

「整備効果」

- 鉄道利用者数34%増加
- 移動時間の短縮
 駅から市役所 10分⇒8分
- 乗換時間短縮
 鉄道からバス 9分⇒0分



事業前：H9.4



事業後：H18.6

事業前写真

平成9年4月撮影



平成13年9月撮影

平成17年9月撮影



事業後写真

平成19年2月撮影



平成16年5月撮影

平成19年2月撮影

